

## 学会長挨拶



第9回福井県作業療法学会  
学会長 仲辻 良仁  
(福井赤十字病院)

第9回福井県作業療法学会を、令和5年3月19日(日)にオンラインにて開催することとなりました。一昨年に予定されていた第8回の県学会は、新型コロナウイルス感染拡大にて残念ながら紙面のみの開催になり、また昨年は学会が中止となりました。2年ぶりに開催する学会ですが、福井県作業療法学会としては、はじめてのオンラインでの開催となります。

この数年間は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により、我々の生活・地域社会の環境も大きく変化してきました。医療・介護の連携や地域住民のネットワークに、多くの変化や再考が必要となっています。また、学会や研修会も現地開催からオンライン開催になるなど、当たり前であった社会生活が、大きく変化しています。

このコロナ禍での新たな生活を、作業療法士がどう考え、どう作り上げて、これからの社会に貢献できるかを考えるため、今回のテーマを「新しい生活様式の開拓～未来を支える作業療法～」と掲げ、只今準備を進めているところでございます。

オンラインで開催できるメリットを大いに活かして、ライブ配信、オンデマンド配信による特別講演や教育セミナーを企画し、多くの会員が集い、共に学びあう場として学会を組み立てていきたいと思っております。

県士会の皆様はもちろん、県外からも奮ってご参加していただきたいと思っております。また、多くの演題も募集いたしますので、皆様の積極的な演題登録をお待ちしております。コロナ禍での新たな生活を見直して、未来を支える作業療法を一緒に考えていきましょう。

最後に、COVID-19に罹患された方々、そのご家族の皆様には謹んでお見舞い申し上げます。そして、現在も最善を尽くして感染対策や診療に従事している、行政や医療・福祉関係者の皆様に心より敬意を表します。また、一日も早いコロナ終息と、会員皆様方のご健康を心よりお祈り申し上げます。